

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

令和 3 年 第 2 回

那 須 塩 原 市 議 会 定 例 会

(3 月)

【 質 問 者 】

【令和 3 年 3 月 2 日(火)】

- | | | | | |
|---|--------|------------|----|-------|
| 1 | 10:00～ | 議席番号 2 3 番 | 金子 | 哲也議員 |
| 2 | 11:15～ | 議席番号 1 0 番 | 佐藤 | 一則議員 |
| 3 | 13:15～ | 議席番号 2 5 番 | 山本 | はるひ議員 |
| 4 | 14:30～ | 議席番号 1 3 番 | 大野 | 恭男議員 |

【令和 3 年 3 月 3 日(水)】

- | | | | | |
|---|--------|----------|----|------|
| 5 | 10:00～ | 議席番号 2 番 | 山形 | 紀弘議員 |
| 6 | 11:15～ | 議席番号 3 番 | 中里 | 康寛議員 |
| 7 | 13:15～ | 議席番号 7 番 | 森本 | 彰伸議員 |
| 8 | 14:30～ | 議席番号 6 番 | 小島 | 耕一議員 |

【令和 3 年 3 月 4 日(木)】

- | | | | | |
|----|--------|------------|----|------|
| 9 | 10:00～ | 議席番号 1 6 番 | 櫻田 | 貴久議員 |
| 10 | 11:15～ | 議席番号 9 番 | 星 | 宏子議員 |
| 11 | 13:15～ | 議席番号 5 番 | 星野 | 健二議員 |
| 12 | 14:30～ | 議席番号 1 9 番 | 高久 | 好一議員 |

【令和 3 年 3 月 5 日(金)】

- | | | | | |
|----|--------|------------|----|------|
| 13 | 10:00～ | 議席番号 2 1 番 | 齋藤 | 寿一議員 |
| 14 | 11:15～ | 議席番号 1 4 番 | 鈴木 | 伸彦議員 |
| 15 | 13:15～ | 議席番号 8 番 | 齊藤 | 誠之議員 |
| 16 | 14:30～ | 議席番号 1 番 | 益子 | 丈弘議員 |

受付番号	令和 3年 2月 8日
第3号	午前 1時50分受付 午後

令和 3年 2月 8日

那須塩原市議会議長 様

議席番号 23番 金子 哲也

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 電磁波の公害問題について	電磁波の問題は、昨今大きくクローズアップされています。電波塔・携帯電話・タブレット・電子黒板・無線 LAN 等、種々の電子機器によって発生する電磁波による生物への影響と、人への影響が世界中で問題視されるようになりました。これは、我々の身近な所で現在起きている大きな問題なのですが、ほとんど見過ごされています。今、当市はこの問題をどう考えていくのか伺います。
	(1) 教育の立場から
	学校に於いて、教育のデジタル化（タブレット・電子黒板・無線 LAN 等）を進める上で科学的な研究の結果を重視する必要があると思われませんが、子どもに重大な影響があると言われて
	ている電磁波被害に対して、どのように最小限におさえていくか、考えを伺います。
	(2) 子ども未来の立場から
	幼児に電磁波が悪影響を及ぼす可能性があると言われてい
	ますが、どのような対応と指導をしていますか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 社会福祉の立場から
	①特に胎児にとっては電磁波が危険であると言われてい
	ますが、それに対応する対応策は、また指導はなされていますか。
	②最近、電磁波過敏症の人々の叫びや訴えが数多く見られるよ
	うになりましたが、その状況と対策をお聞かせください。
	(4) 環境の立場から
	電磁波による、被害や影響問題を公害問題として、市民を守
	るために調査や対策を検討することができないか。伺います。
2. 5 G 携帯電話中継基地局の設	近年、科学技術、特に通信システムが急速に進展し、10年単
置について	位ぐらいで変動している。2020年代に入り5Gが登場し、第
	4世代すなわち4Gよりも周波数の帯域幅が広く通信速度が速く
	なるという便利さの進展が加速しています。それに伴ってあちこ
	ちに携帯電話の中継基地局の設置が目立っています。数十メー
	ルの高さのものから、数メートルの低い電波塔、マンホールを利
	用した電波基地まで、5Gにむけて多種の中継基地局がつくられ、
	又計画されています。
	しかし、これらの中継基地局の設置に関して、設置場所の近隣
	住民や保育所・幼稚園・学校等との間にトラブルが多発してい
	ます。このことをこれからどう対処し、考えていくか難問がたちは
	だかっています。市の考えを伺います。

質 問 事 項	
3. 子供のスマホ依存について	電磁波による身体的被害もさることながら、現在スマホによる
	精神的、又社会的な被害が社会問題化してきています。特にこれ
	からの子どもの生育環境を考えた時、このままスマホ社会を見過
	ごしていいのだろうか。数年のうちには大変な社会問題にな
	ると予想されます。今すぐ何らかの手を打つ必要にせまられてい
	ると思われることから、伺います。
	(1) 小学生、中学生のスマホの使用状況はどのようになっていますか。
	① スマホの所有状況は把握していますか。
	② 学校における使用時間と制限はありますか。
	③ 家庭における使用時間と制限はありますか。
	(2) スマホによる精神的なストレスやスマホ依存症やスマホ障害
	などは見られませんか。
	(3) 学校の授業や成績等においてスマホによる何らかの変化や影
	響はありませんか。
	(4) 教育の立場から、これからのスマホの有る子どもの生活を
	どのように考え、どのように指導していきますか。

受付番号	令和 3年 2月 8日
第1号	午前 8時45分受付 午後

令和 3年 2月 8日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 10番 佐藤 一則

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市民協働による地域 づくりについて	太古の昔から人は、集団生活を営んできました。それは、孤立して生活するよりも集団でお互いに協力して生活するほうが食糧の生産や外敵の防衛にも良かったからで、自然に会得した知恵でした。至るところに集落ができ、それらが集まって村落となり一つの町や国が出来上がってきましたが、その形成過程のなかにおいて、人々は国の形成基盤をなしている住民自治組織を形成し、相互扶助の利点を生かして生活自衛の努力を払ってきました。戦後の厳しい時代を乗り越え、高度成長期からバブル期を経て現在に至るまで社会情勢は大きく変化しました。そしてその変化は、人々の価値観を多様化させ、「家」を単位とした地域的つながりから「個人」を単位としたつながりへと市民意識を大きく変化させました。また、人口の急増と生活圏の拡大、物質的な豊かさによって、地域の連帯感や人間関係が希薄になり、自治会の活動に無関心な世帯が増えてきたことも否定できません。しかしながら、今日、阪神淡路大震災等での自治会の果たした役割などから、自治会が見直されてきており、また、近年の少子高齢化社会に伴う地域福祉の向上や行政との協働のまちづくりの推進のためにその必要性は確実に増大しています。まちづくりを考えるうえで、自治会と行政との協力関係は必要不可欠なものであると考えることから以下についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 市民提案型協働のまちづくり支援事業について
	(2) 市民活動センター設置運営について
	(3) 協働のまちづくり推進協議会の運営支援について
	(4) コミュニティの設立支援について
	(5) 自治会が行う地域事業に対する補助金の交付について
	(6) 自治会加入率の直近の推移について
	(7) 行政と自治会長連絡協議会との連携強化について
	(8) 市民への啓発活動について

受付番号	令和 3年 2月 8日
第2号	午前 11時 46分受付 午後

令和 3年 2月 8日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 25番 山 本 は る ひ

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市民との協働のまちづくり について	市民が主役のまちづくり、市民目線のまちづくりを目指し本市では「市民との協働によるまちづくり」を進めていくためのルールとして『那須塩原市協働のまちづくり指針』を策定しています。 今後も市民と行政が、協働のまちづくりの考え方を理解して共有して事業を進めることが重要だと考えることから伺うものです。 (1) 「協働のまちづくり」という考え方は定着しているか伺います。 (2) 協働のまちづくり事業を進めるときに、行政が市民に期待することは何か伺います。 (3) 市民と協働で行ってきた事業、今後予定している事業にはどのようなものがあるか伺います。 (4) 協働のまちづくり事業の検証と評価はどのように行っているか伺います。 (5) 協働のまちづくりを進めていくためには情報の共有化が必要です。行政からの情報発信や収集、市民との情報交換の場やネットワークはどのようなになっているか伺います。

受付番号	令和 3年 2月 8日
第4号	午前 午後 2時34分受付 在後

令和 3年 2月 8日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 13番 大野 恭男

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 高齢者福祉事業について	<p>2025年団塊の世代の方がすべて後期高齢者となり、少子高齢化が増々深刻化されてきます。そのような中「第7期那須塩原市高齢者福祉計画」をしっかりと検証されて、「第8期那須塩原市高齢者福祉計画」が策定され、来年度4月よりスタートします。</p> <p>また、新型コロナウイルスワクチン予防接種がよいよ開始される予定となっており、高齢者のワクチン接種の優先順位が高いことから、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 「第8期那須塩原市高齢者福祉計画」で予定されている施設整備を伺います。</p> <p>(2) 要介護（要支援）認定申請が増えてくることが予想されます。迅速に認定結果を出すことがより求められてくると思いますがどのような対応を行っていくのか。また課題があれば伺います。</p> <p>(3) 施設整備や介護サービス量増加などで介護保険料の増加が予想されます。「第7期那須塩原市高齢者福祉計画」中では介護保険料の基準額は月額5,400円です。「第8期那須塩原市高齢者福祉計画」の介護保険料を伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>(4) 高齢者施設などの入居者に対し、ワクチン接種をどの様に行っていくのか。また独居高齢者や高齢者世帯の方への対応を伺います。</p>
<p>2. 保育事業について</p>	<p>「第2期那須塩原市保育園整備計画」が令和2年3月に策定され特に少子化が進む中で公立保育園のあり方を検討しながら私立園との地域バランスを考慮した教育・保育施設の整備を進め、待機児童の解消を図っていくとあります。待機児童や入園待ち児童に関しては、県保健福祉部の発表で昨年4月1日時点で那須塩原市の待機児童は14人、潜在的待機児童数(入園待ち児童数)は86人でありました。昨年10月1日時点では待機児童数は8人と若干減少しておりますがゼロにはなっていない状況であります。また保育士確保なども重要な課題となってくると思うことから以下の点について伺います。</p> <p>(1) 待機児童及び入園待ち児童の現状と課題及びこれらを解消するための取組を伺います。</p> <p>(2) 公立保育園の民営化計画及び公立保育園のあり方について伺います。</p> <p>(3) 保育士不足(確保)の現状と課題、今後の取組を伺います。</p> <p>(4) 入所選考にかかわる担当職員の負担軽減のためにAI(人工知能)マッチングシステムを導入してはと思うが考えを伺います。</p>

受付番号	令和 3年 2月 8日
第5号	午前 3時42分受付 午後

令和 3年 2月 8日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 2 番

山 形 紀 弘

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. コロナ禍における経済対策について	<p>昨年から続いている新型コロナウイルス感染症は、今も猛威を振るっており、収束の見通しは立っておりません。その影響によって栃木県では2度目の緊急事態宣言が発令され、宣言解除後も消費の低迷や時短営業などで苦しんでいる中小零細企業が非常に多いのが現状であります。本市でも様々な経済対策を取り組んでおりますが、景気低迷が続く状況では今後も中小零細企業には更なる支援等が必要と思われることから以下の点についてお伺い致します。</p> <p>(1) 昨年実施した那須塩原市プレミアム商品券の経済効果と課題についてお伺い致します。</p> <p>(2) 本市の新型コロナウイルス感染症関連支援策についてお伺い致します。</p> <p>① 市内事業者支援給付金について</p> <p>② 市事業者家賃支援給付金について</p> <p>③ 市3密防止設備整備費助成金について</p> <p>(3) 今後の事業者向けの取組があればお伺い致します。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 防災活動・消防団活動について	<p>年々深刻化になる少子高齢化や様々な社会問題によって、各自治体の消防団加入率低下が問題となっております。全国的に見ても消防団員が減少傾向にあり、防災活動及び消防団活動において支障をきたしております。また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大によって防災に関する様々な活動が自粛や中止となって自治会とのコミュニケーション不足やコロナ禍における防災訓練や避難訓練なども実施されておらず、有事の際には非常に懸念されることから以下の点についてお伺い致します。</p> <p>(1) 本市の消防団員減少の要因をお伺い致します。</p> <p>(2) 本市の消防団員確保に取り組んでいる事業内容と効果についてお伺い致します。</p> <p>(3) 消防団員減少によって各支団や各部の活動が困難になっており統廃合などが必要と感じるが所感をお伺い致します。</p> <p>(4) 今後の消防団活動に対して、団員に向けたアンケートを実施する考えがあるのかお伺い致します。</p> <p>(5) 来年度の防災訓練や消防団活動について事業の予定をお伺い致します。</p>

受付番号	令和 3年 2月 8日
第6号	午前 午後 3時45分受付 <input checked="" type="checkbox"/>

令和 3年 2月 8日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 3 番 中 里 康 寛

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原のデジタルトランスフォーメーション (DX) 推進に向けて	<p>我が国では、行政のデジタル化について、政府のデジタル・ガバメント閣僚会議において、政府のデジタル化推進を掲げ様々な検討が行われてきましたが、業務プロセスの見直しや省庁間連携の必要もあり、一連の行政デジタル化に向けた取組みはなかなか進みませんでした。</p> <p>ところが、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、行政機関におけるデジタル化への要請は急速に高まりを見せました。感染症拡大を防ぐべく、対面による説明や書面の受け渡しをできるだけ回避することが求められるようになり、社会的にもオンライン会議やリモートワークが急速に進み、行政においてもその導入は避けられない状況となっております。</p> <p>令和2年度の政府のいわゆる「骨太方針2020」では、デジタル化への集中投資・実装とその環境整備を進めるために、デジタル・ガバメント実行計画の見直しと各施策の実現加速化に加え、業務プロセスそのもの見直しを図ることがうたわれ、現在の菅政権のもとでも、行政のデジタル化は引き続き最重要政策課題と位置付けられております。菅首相はデジタル庁の設置を掲げ、行</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>政のデジタル化を今後5年で達成するよう各府省に指示しました。具体的には、2025年度までに必要なDXを実現するための工程表を省庁の縦割りを乗り越えて作成するよう指示し、自治体間のシステム統一など33項目のデジタル化に向けた政策目標を掲げております。</p>
	<p>これを受けて本市では、地方自治体としてのDXについて、国の政策の流れにいち早く対応し、全庁的なデジタル政策を強力に推進するため、令和3年4月1日から企画部に「デジタル推進課」が新たに設置されます。</p>
	<p>地方自治体の目指すべきDXは、行政事務のICT化を整えることが目的ではなく、デジタル化を通じて地域課題の発見や解決に向けて市民と行政が連携・協働する環境を整え、住民のニーズに柔軟に対応できる環境を構築することであると考えます。ICTの浸透が市民の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるために、以下の点についてお伺い致します。</p>
	<p>(1) 本市におけるDX推進の意義や目的についてお伺い致します。</p>
	<p>(2) 本市が考える市民のメリットをお伺い致します。</p>
	<p>(3) これからDXを推進していくにあたり現状での課題をお伺い致します。</p>
	<p>(4) DX推進体制についてお伺い致します。</p>
	<p>(5) DX推進計画の策定についてお伺い致します。</p>

受付番号	令和 3年 2月 9日
第7号	午前 1時 38分受付 午後

令和 3年 2月 9日

那須塩原市議会議長 吉成伸一様

議席番号 7番

森本 彰伸

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市のダイバーシティ推進について	<p>社会の多様性が進み、様々な価値観そして立場の人たちにより世の中は構成されています。社会的課題、経済的課題も多様化し、行政もそれらの課題に対応するためには、多角的な視点を持つ必要があります。サステイナブルな社会の実現にはダイバーシティの考え方はとても重要な位置を占め、人種、宗教、性別、年齢、性的指向そして障害の有無などでマイナリティーといわれる人たちが他の人と同じように活躍する社会の実現が求められています。しかし、それはマイナリティーといわれる人たちの利益の為だけではなく、社会やその中の組織が多様化する世の中に対応していくためにも必要なことです。様々な立場そして価値観を持った人材がいることで、違った視点のアイデアが生まれ、議論できる環境が整い、ダイバーシティは創造性を発揮するチャンスをもたらします。</p> <p>市の組織の多様性を高め、より柔軟性と創造性が豊かになることと、那須塩原市全体にダイバーシティの考えが浸透することを願います。以下のことについてお伺いします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) ダイバーシティの重要性・必要性そして課題をどのよう
	にとらえているかについて
	(2) 市の障害者雇用の考え方について
	(3) 市の外国籍者雇用の考え方について
	(4) LGBTの職員への配慮について
	(5) 女性管理職登用の考え方について
	(6) 小中学校義務教育学校でのダイバーシティ教育の現状に
	ついて
	(7) 市内施設の多様性への許容について
	① 多言語化について
	② 障害者への対応について
	③ その他、多様性許容のために対応していることについて
	(8) 民間企業、市民への啓発について

受付番号	令和 3年 2月10日
第8号	午前 2時54分受付 午後

令和 3年 2月10日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 6 番 小 島 耕 一

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 コロナ禍の中でサテライト オフィスなど企業誘致の推進 について	<p>11月中旬より、新型コロナウイルス感染症の感染者数が急激に増加したため、第3波が到来しました。本県を含めて11都府県で緊急事態宣言が発令されましたが、ここに来て、3密を避け、テレワーク等で接触を減らすことや、新型コロナウイルスの感染リスクの高い飲食店の営業時間短縮によって、陽性者を減らすことに成功し、本県では2月8日に緊急事態宣言が解除されました。</p> <p>このコロナ禍の中で、ICT技術など情報処理に関する企業では、感染防止の観点からテレワーク等の導入が進んでいます。また、テレワークの導入によって、どこに住んでも仕事ができる方が増加したことから、仕事と休暇を一緒に楽しめるワーケーションも観光地を中心に取組みられています。本市では、那須塩原駅周辺まちづくりビジョンや塩原・板室といった温泉地の観光マスタープランの中にサテライトオフィスやワーケーションの誘致を検討しています。</p> <p>そこで、民間企業や民間の活力を呼び込むことにより、地方創生にもつながり、魅力ある市街地が形成される可能性があることから、サテライトオフィスなどの企業誘致にどのように取り組む</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	のか質問します。
	(1) 那須塩原駅周辺まちづくりビジョンにおけるサテライトオフ
	イス誘致の考え方について
	(2) サテライトオフィス等民間企業の誘致方法について
	(3) サテライトオフィス誘致のための環境整備について
	(4) 参入した民間企業の支援策について
	(5) 観光地におけるワーケーションの導入について
	(6) 参入した民間企業等のネットワークの支援について
2 槻沢縄文遺跡など文化財の 保存活用について	本市では、令和2年3月に「歴史をつなぎ、未来を拓き、新し
	いまちのストーリーをみんなでつくろう」を基本理念に歴史文化
	基本構想を策定しました。現在、この基本構想を基に文化財保存
	活用地域計画を策定しているところであります。
	本市では、那須疏水の開削の歴史や日本遺産に認定された「明
	治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚」といった明治以降
	の歴史がなじみ深いものです。
	しかしながら、地域の歴史を紐解いてみると、国の重要文化財
	に指定されている土器が出土した槻沢縄文遺跡など古代から近世
	の歴史遺産も存在します。この他にも、自然や産業と密接に関係
	する特徴的な農村集落と数多くの民俗芸能、温泉にまつわる歴史
	と芸術作品などの文化遺産もあり、実に多彩な歴史文化、多種多
	様な文化財があります。
	そこで、文化財の保存活用をどの様に取り組むのか、また、国
	の重要文化財に指定されている土器が出土した槻沢縄文遺跡の保 存活用をどのようにすすめるのか質問します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 文化財保存活用地域計画の策定スケジュールと進捗状況
	について
	(2) 文化財保存活用の現状と課題について
	(3) 文化財保存活用の重点的取組について
	(4) 昨年、実施した博物館のテーマ展、「縄文クロスロード、
	槻沢」の概要について
	(5) 小中、義務教育学校における「縄文時代」の歴史教育につ
	いて
	(6) 槻沢縄文遺跡の学校教育での活用について
	(7) 槻沢縄文遺跡周辺の発掘調査について

受付番号	令和 3年 2月10日
第9号	午前 3時 1分受付 午後

令和 3年 2月10日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 16番 櫻 田 貴 久

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 観光行政について	<p>本年1月に11都府県を対象に緊急事態宣言が発令されましたが、本県は唯一、2月7日までで解除されました。</p> <p>しかし、GoTo トラベルの停止期間の長期化で廃業や休業に追い込まれる宿泊施設も多く、再開条件や旅行中の感染対策強化について、検討を急ぐ必要があります。</p> <p>本市としても、昨年の6月～7月にかけて、マイクロツーリズムの観点からリフレッシュキャンペーンを行いました。市民の皆様、事業者の皆様にとって、大変すばらしい政策となりました。</p> <p>おそらく、今後、観光支援策が次々と行われることと思いますが、実施のタイミングを慎重に判断していただく必要があります。</p> <p>そこで、本市のコロナ禍での観光支援の取組に関し、以下の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 2020年の観光入込数と宿泊数について、お伺いします。</p> <p>(2) コロナ禍における本市の宿泊キャンセルの現状について、お伺いします。</p> <p>(3) コロナ禍における本市の観光支援に関する次の取組について、お伺いします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	① 塩原温泉について
	② 板室温泉について
	③ 平場の観光地について
	(4) 全国でも注目を浴びている那須塩原市観光モデルにおける
	PCR 検査の進捗状況について、お伺いします。
	(5) 旅館業界を取り巻く状況の変化の一つとして、インターネッ
	ト予約サイトの普及は、無視できません。既存の旅行会社は、
	リアルエージェントでした。それに対して、オンライントラベ
	ルエージェントすなわち「O. T. A.」がインターネットの普
	及とともに急激に力をつけてきています。そこで、本市の現状
	について、お伺いします。
	(6) 2021 年度の本市の観光支援策について、具体的にお伺いしま
	す。
	(7) これからの温泉地・温泉旅館のあり方については、単なるレ
	ジャー・観光の目的地としてだけではなく、生活の延長として、
	あるいは仕事場として、いろいろな活用が考えられます。本市
	の温泉地の未来についての所見をお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2 教育行政について	<p>黒磯地区のドーナツ化現象は、深刻な状況です。少子高齢化が進む中、この打開策として黒磯小学校、黒磯中学校、黒磯高等学校の小中高一貫校を提案いたします。</p> <p>そこで、以下の点について、お伺いします。</p> <p>(1) 黒磯地区の現状を踏まえた上での小中高一貫教育のメリット、デメリットについて、お伺いします。</p> <p>(2) 近い将来、人口減少が一層進むと思われませんが、黒磯地区において、学校再編はあるのか、お伺いします。</p>
3 スポーツを活かしたまちおこしについて	<p>本市の強みの一つである駅伝をまちおこしに活用するべきではないでしょうか。</p> <p>そこで、以下の点について、お伺いします。</p> <p>(1) 今まで幾度となく、市政一般質問を繰り返し行ってきましたが、本市における駅伝でのまちおこしについて、所見をお伺いします。</p> <p>(2) 駅伝の強化のために本市の陸上競技場を活用することが考えられますが、本市の陸上競技場の現状について、お伺いします。</p>

受付番号	令和 3年 2月12日
第11号	午前 11時58分受付 午後

令和 3年 2月 12日

那須塩原市議会議長 吉成伸一様

議席番号 9番 星 宏子

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 鳥獣被害対策の強化を図る ために	鳥獣による農産物の被害が毎年増加しています。中山間地域は高齢化が進み、耕作意欲も失い耕作放棄地が増えるなか、市は温泉ガストロノミーツーリズムを掲げています。この施策を進めるためには、積極的に鳥獣害対策を講じる必要があることから以下について伺います。 (1) 鳥獣被害対策の現状と課題について伺います。 (2) 直近5年間の農作物の鳥獣被害額の推移を伺います。 (3) 国や県の鳥獣被害対策事業に対して本市が活用している事業と内容を伺います。 (4) 栃木県との連携と課題について伺います。 (5) 近隣自治体との連携と課題について伺います。 (6) 鳥獣被害対策に係る若手の人材育成について伺います。 (7) 環境省は国立公園や国定公園の一部地域で野生動物の餌を与えることを禁じた上、30万円以下の罰金を科す規定を新設する自然公園法改正案の閣議決定を目指しています。近年、観光客による餌付けが目立つようになっており、人に慣れた動物が市街地に現れ、山間部と住宅地の隔たりがなくなりつつあります。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>この傾向は本市にも見られ、野生の動物から受ける被害が多くなっていることから、国の動向に合わせた市独自の「野生動物への餌付け禁止条例」の制定について伺います。</p>
<p>2. 長期の大規模停電発生時の電力確保と電力トリアージについて</p>	<p>令和元年9月に上陸した台風15号は、強い勢力で千葉市付近に上陸し、多くの地点で観測史上1位の最大風速や最大瞬間風速を観測する記録的な暴風となりました。9月9日には静岡県や関東南部などで、強風により鉄塔や電柱の倒壊、電線の切断等が多数発生し、一時93万戸を超える大規模な停電が発生しました。復旧にも時間がかかり、被災した住民の命に係わる大災害となりました。環境省による「2100年未来の天気予報」によると、このまま温暖化が進むと、家屋が倒壊するスーパー台風が毎年上陸すると予想しています。近年は栃木県も自然災害が増えており、那須塩原市においても被災した他の自治体の取組を積極的に取り入れ、災害に備える必要があることから以下について伺います。</p> <p>(1) 那須塩原市地域防災計画で緊急時における電源の確保には、「市(各部等)は、災害時に長時間の停電が発生した場合の電源を確保するため、公共施設、事業所及び一般家庭等への太陽光発電装置や非常用発電機の設置、蓄電池の普及を促進することにより、災害に強いまちづくりを推進する。」と記載されていますが、現在の進捗状況と今後の取組について伺います。</p> <p>(2) 東電との災害対応の連携強化の取組について伺います。</p> <p>①情報共有の取組について伺います。</p> <p>②倒木による停電を防ぐため、東電と連携した事前伐採の推進について伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	③大規模災害時において、完全復旧よりも早期の停電解消を最
	優先する「仮復旧」の実施計画策定について伺います。
	(3) 医療施設、福祉施設、上下水道施設、公共施設、避難所等
	の社会的重要な施設へ電力トリアージについて伺います。

受付番号	令和 3年 2月12日
第10号	午前 9時 31分受付 午後

令和 3年 2月12日

那須塩原市議会議長 吉成伸一様

議席番号 5 番 星野健二

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市営住宅の入居条件の緩和について	<p>公営住宅は、国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としております。</p> <p>本格的な少子高齢化、人口減少、雇用の不安定化などの社会経済情勢の変化により、低所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯など住宅の確保に配慮を要する人が円滑に入居できるようにしていくことや、近年の本市の市営住宅の空き部屋も増えつつあることから入居促進を図り空き部屋の解消にも取り組むことも必要と考えます。今後は、高齢単身世帯やひとり親世帯の増加が見込まれ、市営住宅は住宅セーフティネットの中心的役割を担うことが求められます。住宅確保要配慮者の多様化するニーズに対応していく必要があります。地域に即した柔軟なセーフティネットの構築が必要であると考えことから以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 市営住宅の直近5年間の申込件数と入居件数についてお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 市営住宅の直近5年間の空室率についてお伺いいたします。
	(3) 今後の需要と供給のバランスをどのように考えているのか
	お伺いいたします。
	(4) 本市の市営住宅の入居促進に対する取組についてお伺い
	いたします。
	(5) 近年の入居状況を鑑み、またコロナウイルス感染の影響から
	低所得者増も見込まれることから、単身者の入居する年齢条
	件の見直しや身よりのない高齢者が入居する際の連帯保証
	人の免除など緩和する考えはあるか、お伺いいたします。
	新しい生活様式の下、これからのイベントや市民活動は3密を
2. 通信環境の整備について	避け、クラスターの発生を予防するためにも、市民が多く参加す
	るイベントから地域のイベントに移行していくのかもしれない
	ん。地域では、いきいき100歳体操や子育てサロン、コミュニテ
	ィ活動などは公民館が活用されています。今後、研修や出前講座
	などがオンラインで行われることなどを考えますと、ますます地
	域拠点の通信環境の整備が必要になります。地域活動はもちろん
	災害時やオンライン学習へも活用できると考えます。市民にとっ
	て地域の重要拠点である場所への通信環境の整備は重要と思うこ
	とから以下の点についてお伺いいたします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 本市のWi-Fi 環境の現状についてお伺いいたします。
	(2) 総務省は「2020 年に向けた Wi-Fi 環境の全国整備について」
	として、観光拠点、防災拠点への Wi-Fi 環境の整備を推進
	しています。本市における Wi-Fi 環境の整備の必要性につ
	いてお伺いいたします。
	(3) 今後のWi-Fi 環境の整備の取組についてお伺いいたします。

受付番号	令和 3年 2月 15日
第12号	午前 10時 25分受付 午後

令和 3年 2月 15日

那須塩原市議会議長 吉成 伸一 様

議席番号 19番 高久 好一

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。
記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、コロナ対策について	<p>コロナ禍で2度目の緊急事態宣言が「特定警戒」となり、新規感染者が</p> <p>「小康状態」となるなか、引き続き感染防止対策は欠かせない状況にある。</p> <p>以下、市民を感染から守るため、市の考えを伺う。</p> <p>(1)PCR 検査を拡充し、無症状の感染者の保護と治療を強め、感染を集中的に押さえ込むべき時期と思うが、市の考えを聞かせて欲しい。</p> <p>(2)市のPCR 検査は3月までとされているが、ワクチン接種による集団免疫が獲得できるのは2回の接種後となるため、1年は要すると言われている。</p> <p>市は感染拡大の防止を図るため、検査を継続する考えはあるか。</p> <p>(3)感染リスクの高い医療機関や高齢者施設ではクラスター対策に毎週PCR 検査するなどの取組が大切だが、現状をどのように把握しているか。</p> <p>(4)国のスケジュールに沿ってワクチン接種の準備が進められている。</p> <p>4月以降の高齢者の接種にむけ、住民の期待感が膨らむ一方で、接種計画の要となるワクチン供給のスケジュールが依然として示されていない。</p> <p>市はどのように対応して行くのか。</p>

2, 介護保険について	「介護の社会化」が叫ばれ、20年が経ち、介護保険事業計画は第8期を
	迎える。コロナ禍において市民と利用者には厳しい現状がある。
	介護認定者が保険料を払っているにもかかわらず、施設の整備が追いつ
	かず、入所待機者が増加していることから市の対応と考えを伺う。
	(1) 第8期の保険料について、国は平均で1人当たり、月6,000円を超え
	る推計を明らかにしたが、本市はどのように対応するのか。
	(2) 増え続けている施設入所待機者の推移はどのようにになっているか。
	(3) 入所待機者解消のための施設整備計画はどのようにになっているのか、
	明らかにして欲しい。
	(4) 年金が月15,000円以下の加入者がさらに増えると思うが、どのように
	対応していくのか、市の考えを求める。
	(5) 保険料を滞納し、ペナルティーを受けている利用者数と推移、対応に
	ついて聞かせて欲しい。
	(6) 介護事業所の倒産が5年連続で過去最多を更新したと報じられている。
	介護報酬の0.7%の引上げを評価しつつ、コロナ禍の利用控えと抑制で
	事業者の淘汰と休廃業に歯止めが係る材料は見当たらないとしている。
	市が関わる事業者の経営状況について、どのように把握しているか。

受付番号	令和3年 2月15日
第16号	午前 11時55分受付 午後

令和3年 2月15日

那須塩原市議会議長 吉成伸一様

議席番号 21番 齋藤寿一

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、新型コロナウイルス感染症 に対する観光支援について	<p>昨年新型コロナウイルス感染症が確認され、観光を始めとするあらゆる団体に影響を与えました。学校の臨時休業の実施や本市独自の非常事態宣言を発令し、協力依頼に応じて協力いただいた旅館・ホテル等に対し協力金の支給を実施しました。</p> <p>市独自の「リフレッシュ！宿泊キャンペーン」、県の「県民一族一旅行」を展開、また国においても「Go To トラベルキャンペーン」を実施し、誘客も上向きになってきましたが、12月28日より「Go To トラベルキャンペーン」の全国一時停止に伴い、塩原温泉の宿泊施設におけるキャンセルの件数が3,771件に上り、宿泊料金は計1億2,571万円でありましたことから、以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 今後の観光支援についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 「リフレッシュ！宿泊キャンペーン」の第2回目の実施時期と実施方法についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 入湯税の増税分に代わる、新税創設の進捗状況についてお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2、ふるさと納税について	<p data-bbox="638 241 1473 808">2008年から取り入れられたふるさと納税は所得税や住民税の一部が控除されるうえ、地方の特産品や自治体オリジナル商品などがお礼としてもらえると近年ますます人気が高まっている一方でさまざまな問題点も指摘されるようになってきました。2019年6月に始まったふるさと納税の新制度は、過度な寄附獲得競争を是正するため法改正により自治体の返礼品の調達費を【寄附額の3割以下】と規制されました。本市においてもさまざまな取り組みをしているが以下の点についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="638 846 1473 884">(1) 近年のふるさと納税額の推移についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="638 922 1473 1037">(2) 令和2年中の寄附におけるふるさと納税の使い道の区分とそれぞれの金額についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="638 1075 1473 1189">(3) コロナウイルス感染症により、返礼品に影響が出たものは何か、またその対処についてお伺いいたします。</p>

受付番号	令和 3年 2月15日
第14号	午前 11時 2分受付 午後

令和 3年 2月15日

那須塩原市議会議長 吉成伸一様

議席番号 14番 鈴木伸彦

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 新庁舎建設について	<p>本市は2005年(平成17年)年1月1日に黒磯市、西那須野町、塩原町の旧1市2町が合併し誕生しました。新庁舎建設につきましては、合併にあたり策定をしました合併協定項目においては、将来の新庁舎の位置を那須塩原駅周辺とすることとされていましたが、用地取得については去る12月の補正予算で可決しております。</p> <p>新庁舎建設においては、この合併協定項目に基づき、庁内での協議、検討、調査などを進めてきました。</p> <p>さらに2014年(平成26年)年度には、有識者、市内各種団体の代表者、公募によるものなどで構成する庁舎建設市民検討懇談会(以下「市民検討懇談会」と言う。)を立ち上げ、新庁舎に求めるサービス内容、新庁舎を拠点としたまちづくり、新庁舎の整備位置、整備時期など、新庁舎建設に関する様々な検討を重ねました。</p> <p>また、市議会においても、同時期に庁舎建設検討特別委員会(以下「特別委員会」と言う。)を立ち上げ、先進事例の視察なども実施しながら、新庁舎建設に関する検討を重ねました。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>2015 (平成27)年3月には、市民アンケートやパブリックコメント、市民検討懇談会や特別委員会からの意見、市議会からの提言等を踏まえ、新庁舎建設における基本的な考え方を示す新庁舎建設基本構想を策定しました。</p>
	<p>新庁舎建設につきましては2011年(平成23年)年3月の東日本大震災に起因する東京電力福島第一原子力発電所の事故発生、東京オリンピック・パラリンピックなどの影響により、建築費、労務単価の高騰が伝えられていること、また、合併特例債の発行可能期間が2024年度まで延長されたことを踏まえ、建設時期を原則、オリンピック以降に延期することが適当であると判断した経過もあります。</p>
	<p>しかしながら、第2次那須塩原市総合計画(2017年(平成29)年策定、計画期間：2017年度から2026年度まで)に掲げる県北の中心都市にふさわしい拠点作り、同計画の将来像である「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」を具現化するためには、新庁舎の建設が核となる事業であり、欠かせない施設であると考えます。</p>
	<p>これらの状況を踏まえ、新庁舎の建設を着実に推進する必要があると判断し、市民の皆様の御意見をお聞きし、新庁舎の建設に向けたより具体的な方向性、整備に関する基本方針等を取りまとめた新庁舎建設基本計画(以下「基本計画」と言う。)を策定しております。ここで伺いたいします。</p>
	<p>(1) 第二次那須塩原市総合計画「重点プロジェクト」では、プロジェクトが目指すまちの姿として、県北の中心都市にふさわしいまちとしている。それに基づいて、那須塩原駅周</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>辺地区の整備や幹線道路の整備、新しい庁舎の整備を進め、</p> <p>県北の中心都市にふさわしい拠点づくりを推進します。また、</p> <p>近隣市町との連携を更に深めるため、広域的かつ総合的な公共交通ネットワークの構築などを重点テーマとした定住自立圏共生ビジョンを推進するとともに、国や県との連携を一層強化し、政府関係機関の移転や首都機能バックアップに向けた調査研究を進めます。とあるがその進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 新庁舎建設の重要事項の優先順位はどのように考えているか。</p> <p>(3) 基本計画を変えなければならない、または、変えようとする理由は何か。</p> <p>(4) 新庁舎の開庁はいつが最も良いと考えているか。</p>
<p>2. 那須高林産業団地における企業誘致状況について</p>	<p>那須高林産業団地は令和2年(2020年)年12月に当該産業団地の造成が完了し現在分譲行っている状況であります。本市において人口減少対策、雇用対策、税収確保の観点から重要な事業であります。そこでお伺いします。</p> <p>(1) 現在の受付状況について。</p> <p>(2) コロナ禍における企業の動向について。</p> <p>(3) 新たな団地造成の考えはあるかについて。</p>
<p>3. 人口ビジョンについて</p>	<p>平成20年(2008年)年に始まった日本の人口減少は、今後若年人口の減少と老年人口の増加を伴いながら加速度的に進行し、2040年代には毎年1,000,000人程度の減少スピードになると推計されています。特に、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小、</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>高齢者の増加による社会保障費の増加など、人口減少は経済社会にも大きな影響を及ぼすこととなります。すでに「危機的状況」であると言わざるを得ません。</p>
	<p>この状況を打破すべく政府は平成26年(2014年)年12月に、国と地方が総力を挙げて地方創生、人口減少克服に取り組む上での指針となる「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および、地方創生のための政策の基本的方向や具体的な政策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「国総合戦略と言う。」)」を閣議決定しました。以降、毎年度国総合戦略の推進のための基本方針が示され、また、令和元年(2019年)年6月には、「まち・ひと・しごと創生総合戦略基本方針2019」が、同年12月には、当該方針に基づく「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、新たな基本目標のもと、地方創生に資する政策の継続的な推進が求められています。</p>
	<p>本市においてもこれを受け人口の現状を分析するとともに、今後目指すべき方向を示す「那須塩原市人口ビジョン」を平成27年(2015年)年3月に策定し、人口減少に歯止めをかけるため、各種政策に取り組んでいます。そこでお伺いします。</p>
	<p>(1) 人口の推移と将来推計において、現時点で予測とのズレはどのような状況であるか。</p>
	<p>(2) 出生、死亡数の推移についてはどのような状況にあるか。</p>
	<p>(3) とちぎ結婚支援センター那須塩原の利用状況と成果について伺う。</p>
	<p>(4) 財政へ影響は出ているか。</p>
	<p>(5) 今後の対策をどのように考えているか。</p>

受付番号	令和 3年 2月15日
第15号	午前 11時50分受付 午後

令和 3年 2月15日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

議席番号 8番 齊 藤 誠 之

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 共生社会の実現に向けて	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった本年(2021年)に開催予定の東京オリンピック・パラリンピック。本市は共生社会ホストタウンとして、パラリンピアンとの交流をはじめ様々な取組を行っております。これらを契機に共生社会の実現に向けて、ユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリーにおいて、ハード面、ソフト面の両面で市民への理解促進や整備等をさらに進め、来年度(2022年)開催のいちご一会とちぎ国体、第22回全国障害者スポーツ大会へと繋げ、市民に共生社会を浸透させていくことが必要であると考えます。この2つの大きな大会を契機に、本市の未来へ向けた共生社会の構築について以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 心のバリアフリーについて</p> <p>① 本市はこれまでに市内の小中学校でパラアスリートとの交流やパラスポーツへの理解を深める教育や市民を対象にした地域共生社会のシンポジウムの開催、そして廃校後の小学校で障害者アート展覧会などを実施してきましたが、その効果についてお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	② インクルーシブ教育の推進及び啓発についてお伺いいたし
	ます。
	③ 心のバリアフリーについて今後のどのような取組を考えて
	いるのかお伺いいたします。
	(2) すべての人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくり
	について
	①本市では、海外パラアスリートの受け入れを契機に、障害を
	持つ方や高齢者の外国人旅行者でも安全に快適に過ごせるよう、
	観光関係者と協力した情報発信や、宿泊施設、観光施設等の
	バリアフリー化を推進すると計画にうたわれています。
	現在では、計画も進み、那須塩原駅には新たなエレベーターを
	整備、那須塩原市図書館ではスロープの整備や多目的トイレ等の
	バリアフリー化の整備を行っておりますが、今後の新たな整備計
	画についてお伺いいたします。
	②心のバリアフリーをこの機会に体験し、インクルーシブ教育
	が進む中で人々が交流する場所の一つに公園があります。公園の
	整備についても誰もが安全に遊ぶことができる整備も必要である
	と考えます。東京都世田谷区の都立砧（きぬた）公園には、障が
	いがある子もない子もすべての子ども達が共に遊び、楽しむこと
	のできる遊具広場の整備「みんなのひろば」がオープンいたしま
	した。このように、障害の有無に関わらず、子ども達が安全に遊
	ぶことができる遊具の設置（インクルーシブ公園）について本市
	の考えをお伺いいたします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>③移動に困っている人をサポートできる「May ii (メイアイ)」というスマホアプリが大日本印刷より、一部大都市圏から順次提供開始をされております。このような助け合い情報の共有について、本市の考えをお伺いいたします。</p>
	<p>(3) 持続可能なまちづくりを提唱し、本市は様々な施策を展開しておりますが、共生社会の構築について市の考えをお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
<p>2. 本市の総合的な学習の時間と地域の連携について</p>	<p>本市の目指す教育は、社会で活躍できる人材となることを願い「人づくり教育」を基本として、様々な学びの場を創意工夫により展開しております。その学びの時間の中の一つに総合的な学習の時間があります。これは、実社会の様々な場面で活用できる汎用的な能力をつけるための時間とも言われております。サステイナブルな教育活動の展開を掲げている本市の教育について、学力向上と共に総合的な時間の活用は重要なことであることから、以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 総合的な学習の時間の考え方についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 小中義務教育学校の総合的な学習の時間数をお伺いいたします。</p> <p>(3) 総合的な学習について科目などを選定するにあたり、どのような基準があるのかお伺いいたします。</p> <p>(4) 総合的な時間を履修させることは教員の負担にもなると言われております。現状についてお伺いいたします。</p> <p>(5) 地域学校協働本部事業が各地域で行われておりますが、総合的な時間の学習と地域との連携についてお伺いいたします。</p> <p>(6) 総合的な学習についての今後の在り方についてお伺いいたします。</p>

受付番号	令和 3年 2月15日
第13号	午前 10時 30分受付 午後

令和 3年 2月 15日

那須塩原市議会議長 吉成伸一様

議席番号 1番

益子丈弘

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 将来的に持続可能な都市経営を実現するために	<p>私たちの誰もが快適な生活を送るためインフラ(日々の生活を支える基盤)の恩恵を受けて日常を過ごしています。それは今後も必要とされ欠かすことができません。人口減少や高齢社会がさらに進展しても将来的に持続可能な都市経営を実現するため、効率的な施設の維持やインフラの整備を進めることがとても重要です。そのために本市においては、立地適正化計画にて関係する他の計画と連携しながら安定的に持続可能な都市構造の実現を目指しています。現在、コロナ禍により社会への大きな影響や価値観の変化も起きています。不安定な今だからこそ将来的に持続可能な都市経営の実現の必要性を強く感じることから以下について伺いいたします。</p> <p>(1) 立地適正化計画の現状と課題について伺いいたします。</p> <p>① 都市機能誘導区域について</p> <p>② 居住誘導区域について</p> <p>③ 誘導施設について</p> <p>④ 公共交通について</p> <p>⑤ 誘導施策について</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 集約型都市構造の実現についてお伺いいたします。
	(3) 市民への周知や連携、協力はどのように図っていくのかお伺い
	いたします。